



優しい風の吹く街



9月2日 逆瀬川駅にて

今年は戦後70年です。オキナワの日、ヒロシマ・ナガサキの原爆忌、終戦の日と、国会の動きが重なり、「憲法」「平和」について学び、行動し続けた夏になりました。

憲法第12条に「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない。」とあるように、改めてこの憲法の三大原理『平和主義・国民主権・基本的人権の尊重』を高さ理想とし「不断の努力」で進んでいこうと思っています。

活動報告～抜粋～

<7月>

- 1日 ヒューマンライツ議員の会
- 20日 教育創造県民会議
- 22日 宝塚市自治功労者会
- 25日 宝塚市議会報告会

<8月>

- 28日 阪神政策研究会
- 29日 護憲円卓会議
- 30日 宝塚市議会意見交換会

<9月>

- 1日 多様性を考える講演会
- 3日～10月8日 9月定例市議会
- 15日 保育子育て支援議員連盟研修会
- 26日 大阪府立大学SSWセミナー

文教生活常任委員会行政視察

●8月3日 東京都八王子市

障がい者に対する市民及事業者の理解を深め、障がい者差別をなくすため「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」について調査。

●8月4日 長野県松本市

チェルノブイリ原発事故後にベラルーシで子どもたちの治療に尽力された、菅谷昭医師が現松本市長。そのリーダーシップのもと「健康寿命延伸都市・松本」の創造が進む。

議会報告と、市政についての
自由な意見交換の場としています。



市民ネット宝塚 発 第34回『駅前議会』

7月18日



ホームページにおいて、活動報告を日々更新しています。
ぜひご覧いただき、ご意見などをお寄せください。

<http://www.kitanosatoko.com>

1. 職員と教職員の労働安全と研修について

メンタルヘルス対策の充実・強化をめざして「改正労働安全衛生法」が施行される。労働環境の改善により、長時間労働の抑制や、モチベーションの向上をめざすものである。

ハラスメントのない職場環境づくりや、資質向上にむけて研修体制などを整えることも必要である。

宝塚市の取り組み状況は。

〈市長〉

- ①7つの安全衛生委員会を設け、職場巡視、公務災害の原因究明や発生防止策検討、カウンセリング、産業医による面談などを行っている。ストレスチェックも毎年1回実施する。
- ②ハラスメントについて啓発や注意喚起を図る。
- ③職員の自己啓発意欲を引き出す取り組みを実施。

〈教育長〉

相談体制の確立を図り、ハラスメントの防止や排除について全教職員あげて取り組む。

2次質問 <研修等に関する改善策>

本庁以外の出先機関職員の研修について改善策を。

〈総務部長〉

公平に研修の機会が確保できるように時刻や回数など工夫していく。

〈学校管理部長〉

宝塚市の教職員平均労働時間は、全国平均と比べても長時間化している。市としての対応は次のとおり。

- ①勤務時間適正化対策プランの取り組みを進めている。(意識改革としても定時退勤日、ノー会議日、ノー部活デー。保護者地域への周知。)
- ②人的支援(SW、学校支援チーム、生活指導支援員等)
- ③IT化の推進(校務支援ソフト活用)

文部科学省調査では、教職員は1日12時間前後も学校にいらることがわかった。

自宅に持ち帰る仕事も1時間半あり、特に子育て世代の教職員らは、仕事と子育ての両立の難しさを訴えている。

抜本的な改善策が求められるが、どうか。

2. 児童生徒のSNSに関する問題について

SNSは大変便利である反面、対面でのコミュニケーションと違い、話し方や表情などが伝わらないという弱点がある。

SNSツールでの友人間トラブルは、仲間外れや無視から始まる集団いじめにつながり深刻である。

犯罪被害も、スマホ依存も増えており早急な対策が求められる。

「スマホ」使用のルールづくりや、仲間同士の支援(ピア・サポート)はどうか。

〈教育長〉

- ・リーフレット「考えてみませんか?ネット・ケータイ」保護者配布。
- ・情報モラル講座やサイバー犯罪抑止講習会の開催。
- ・「宝塚市高校生スマホサミット」人権交流学びのつどいで報告。
- ・H中学校では、生徒・保護者・教職員三者が協議してガイドライン作成。
- ・子どもたちが自ら考え、行動していくことは大切であり、その取り組みが互いの支えにつながる。



3. 宝塚駅前の交通課題について

宝塚駅前のロータリーは、JR 駅の高架化後も「観光バスの発着場所」がないため、中の島スペースや、陸橋からのエレベーター設置などの全体的かつ抜本的改善が急務である。

手塚治虫記念館や宝塚大劇場へのバス駐車に加えて、宝塚ホテルが花のみちに移転してくるという将来に向けて、改めて宝塚駅周辺道路の動線を考え直すべきではないか。

宝来橋側の道路も、駐車する車両の増加で離合もできない状況が頻繁に起こっている。

〈市長〉

- 観光バスの停車スペースには、一般交通への影響や利用者の利便性、安全な動線の確保が必要。現状の広場において効果的な対応策検討を継続。
- 手塚治虫記念館付近にも観光バス等の駐車場が必要。ガーデンフィールズの利活用のなかで検討中。
- 駐車違反車両の指導、取締りも強化していく。



4. 公立高校の入試について

公立高校の入試制度は、「15 の春は泣かせない」として地域の高校への進学を基本にしてきた「総合選抜制度」から、自己責任型の選抜へと大きく変わった。新制度での入試結果と課題についてはどうか。生徒の希望が本当にいかされたのか。

行きたい学校より「行ける学校」を選択せざるを得ないことで、長時間通学や経済的負担も増加しており、入学したものの、不登校や休学、中退してしまう生徒がいるようだ。卒業後の追跡調査や、相談受け入れなどは行われているのか。

〈教育長〉

生徒の希望を叶えるための目標設定などきめ細かな進路指導を行ってきた。その結果、本市の公立高校合格者が昨年度に比べ134人増えた。インクルーシブ教育の体制を整える合理的配慮も不可欠。卒業後も追跡調査を行い、相談アドバイスなど適切な支援を行っている。

2次質問 〈支援体制〉

単なる学力だけではない多様な観点から、生徒と保護者・家庭を支援し、進学においては受験をサポートし、教育と福祉とつなぐ役割を果たすSSW（スクールソーシャルワーカー）の必要性は、中学校で高まっており、さらなる拡充が急務ではないか。

〈副市長〉

教職員の忙しさは実感している。教育課題は複雑・多様化しており、質の高い教育のためにも、子どもに向き合う環境を整えることが大切。図書館司書やSSWなどスタッフ部門が少ない実情。より一層支援強化に努めていく。

活動トピックス

水泳介助ボランティア 7/10



良元小学校3・4年生 命を守る「着衣水泳」

自由と人権を護る！

「戦争をさせない
1000人委員会
ひょうご」
神戸元町行動



大人から子どもへ「平和のバトンを届けよう！」

ピースパレード宝塚



ママ&パパの
強い願い

阪神間議員71名呼びかけ人「阪神総がかり行動」

伊丹に大集合
雨中のパレード



子どもを戦場に送るな！

「ストップ戦争法案宝塚市民行動」



市民とともに
毎週2回の行動を
続けてきた

姉妹都市・松江市議会交流研修会

- ① 松江城の国宝指定について 8/20~21
- ② 「このまちの魅力」高橋一清さん講演
- ③ 足立美術館視察
- ④ 安来節演芸館視察・体験



★「ちょこっと名人修了証」いただきました

県議会で24年ご活躍！ 9/12



掛水須美枝さんのご退任を祝う会

私の教員時代から大きな影響を受けた尊敬する先輩。感謝の気持ちでいっぱい。

～風のココロ～

多くの憲法学者から「違憲」と指摘され反対の声が強まるなかで、安倍政権は集団的自衛権の行使を容認する安全保障関連法を成立させた。国家権力の濫用を抑えるのが憲法であるという「立憲主義」をないがしろにする暴挙といわざるをえない。基本的人権の尊重・平和主義・立憲主義をとりもどすまで、市民とともにがんばっていく。

◇発行人◇ 北野さと子
◇連絡先◇
〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209
Tel&Fax 0797-73-4556
ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>